

石川県における がん登録 ダイジェスト版

【平成18年標準集計・平成14年罹患者生存率集計】

平成22年3月

石 川 県

はじめに

「石川県地域がん情報管理事業(がん登録事業)」は、石川県が実施主体となり、社団法人石川県医師会、県内全医療施設及び金沢市保健所の協力を得て平成3年から実施しており、今年で19年目をむかえました。

このダイジェスト版は、がん予防及び早期発見の観点から、県民や医療及び保健関係者(市町・保健所)に対し、情報をわかりやすく提供することを目的として、平成12年度から発行しているものです。

このダイジェスト版が、石川県民全体のがん予防の啓発や医療及び保健関係者の活動等に、大いに役立つことを願っております。

平成22年3月

石川県健康福祉部

ポイントを簡単に知りたい方のために

詳細はこちらのページ

- がん登録はがん対策に重要です。 ……がん登録事業の目的 P1

- がん登録は行政・医療が協力して行っています。

……石川県がん登録の実施体制図 P2

- どの年代がどんながんにかかりやすいかご存じですか？

……年代別のがん罹患状況 P4

- 男性では「胃がん」「肺がん」「大腸がん」で高くなっています。
女性では「乳がん」「大腸がん」「胃がん」で高くなっています。

……年齢調整罹患率と年齢調整死亡率 P5

- がんにかかる人・亡くなる人が多い部位は全国とほぼ同じです。

……全国との比較 P7

- 早期に見つかりやすいがんは、「胃がん」「子宮がん」です。

……早期がんの割合 P9

- 男性女性とも「大腸がん」「胃がん」は経過が比較的良好です。
女性では「乳がん」「子宮がん」がさらにより経過となります。

……5年生存率 P10

- 検診でがんが見つかった人は、外来で見つかった人と比べて高い生存率を示しています。

……検診群と外来群別5年生存率 P12

- 早期で見つければ、生存率は高くなります。

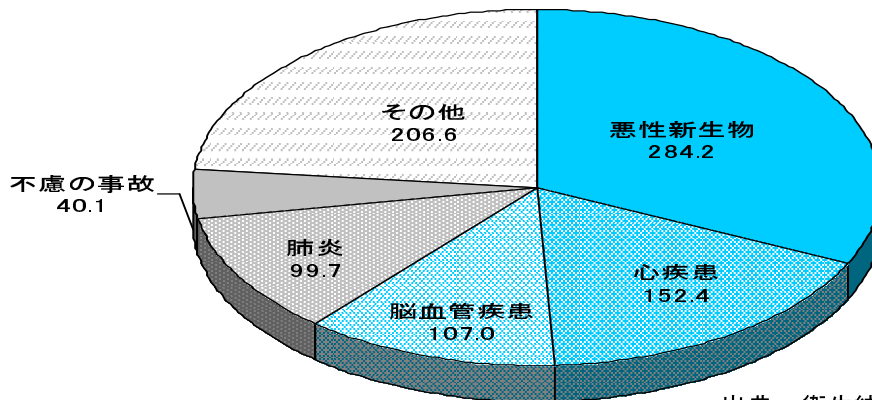
……進行度別の5年生存率 P13

がん登録事業の目的

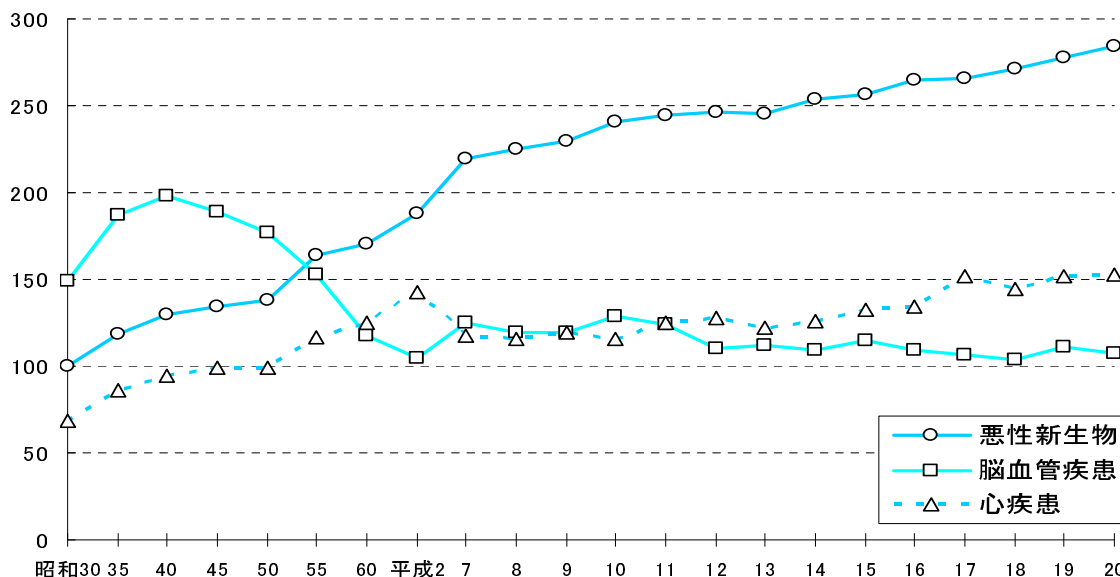
悪性新生物（以下、一般に広く受け入れられている「がん」という名称を使います。）は、石川県の死亡原因の第1位を占めており、また増加の一途をたどっています。その対策を推進することは、県民の健康の保持・増進を図る上でとても大切です。そのためには、「がん登録」によってがん罹患数（がんにかかった患者さんの数）等を的確に把握し、がん対策を検討・実施することが重要な課題なのです。

石川県地域がん情報管理事業（がん登録事業）は、各種がんについて、その発病から治癒または死亡に至るまでの医療情報を多方面から集め、これらの情報をがんの予防や医療活動に活用することを目的としています。

石川県の主要死因別死亡率(人口10万対)

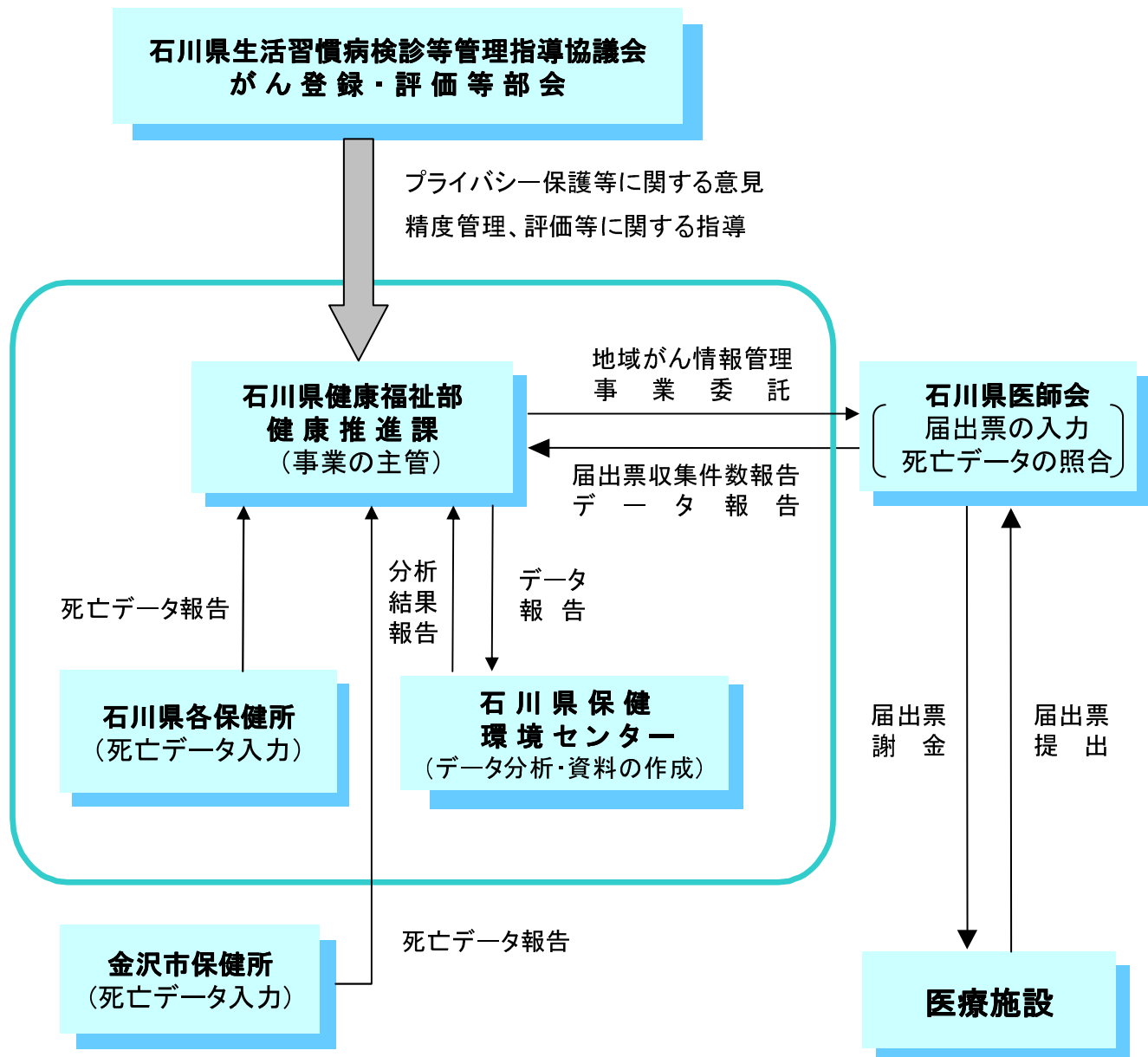


出典：衛生統計年報(平成20年)



出典：衛生統計年報(平成20年)

石川県がん登録の実施体制図



平成3年から石川県が実施主体となって、社団法人石川県医師会、県内全医療施設および金沢市保健所の協力を得て実施しています。

○ がん（悪性新生物）登録の対象者

石川県内に住み、医療施設において登録対象がん（悪性新生物）に罹患したと診断された者及びそれによる死亡者を対象としています。

・罹患患者の登録

県内の医療施設が、登録対象がんの患者を診断した場合に提出される「石川県悪性新生物届出票」（以下、「届出票」）を県医師会で収集し、その内容を入力します。

・死亡患者の登録

保健所で、人口動態調査死亡票（以下、「死亡票」）を収集し、その内容を入力します。

○ 対象となる がん（悪性新生物）

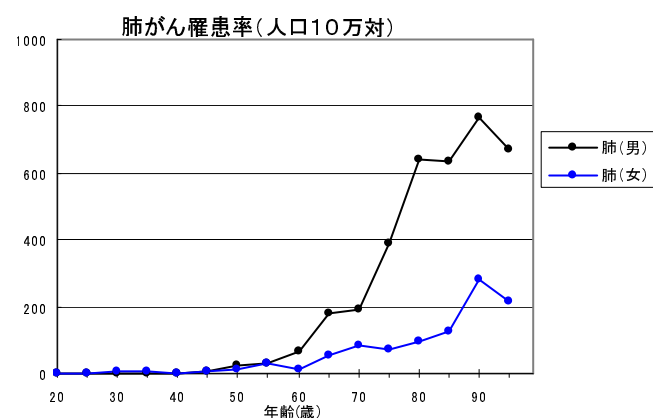
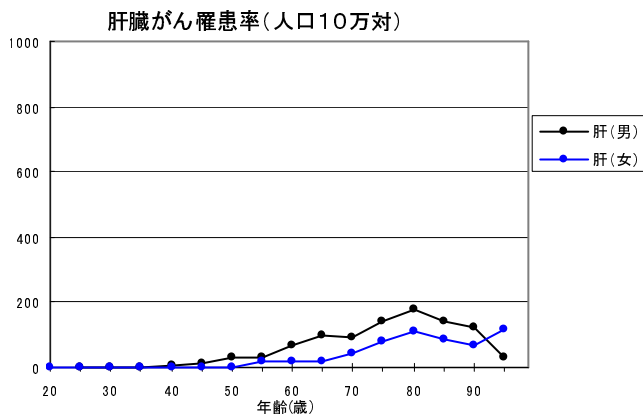
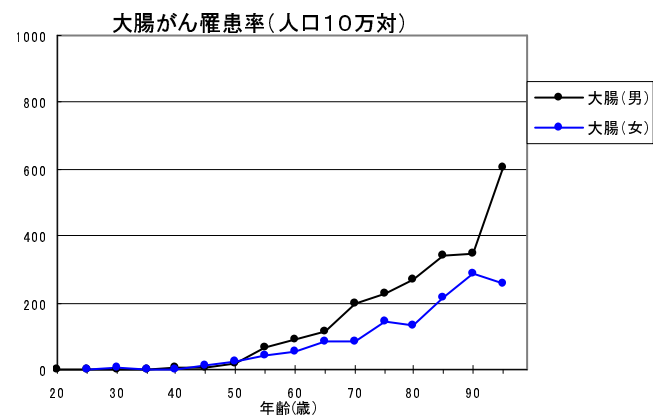
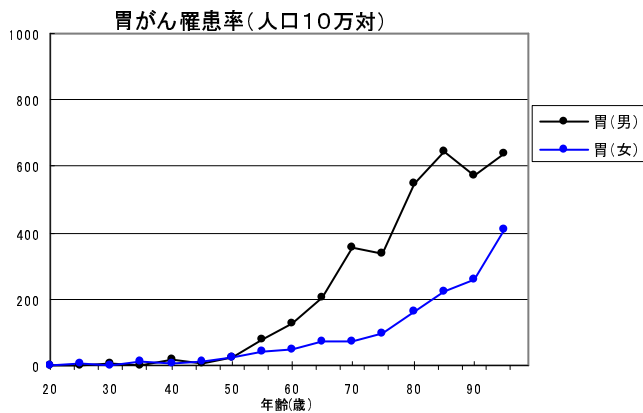
届出対象となるがん（悪性新生物）の範囲は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正（ICD-10）」のうち、原発部位が表1に記載した男性8部位、女性10部位（以下、「登録部位」という。）としています。

なお、当事業は、精度管理等の観点から男性8部位、女性10部位で開始しましたが、その罹患数合計は、全国推定罹患数（地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」平成10年度報告書：主任研究者 大島 明）により試算すると、全部位の罹患数合計に対し、男性75.0%、女性82.0%を占めます。

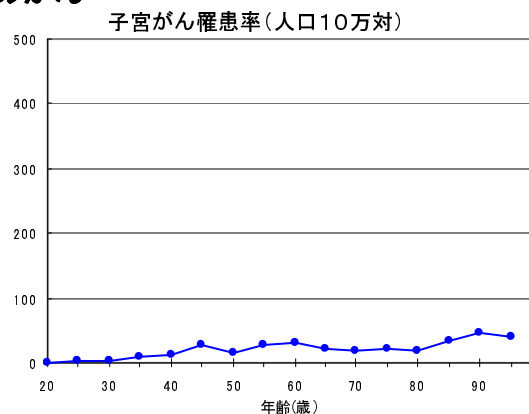
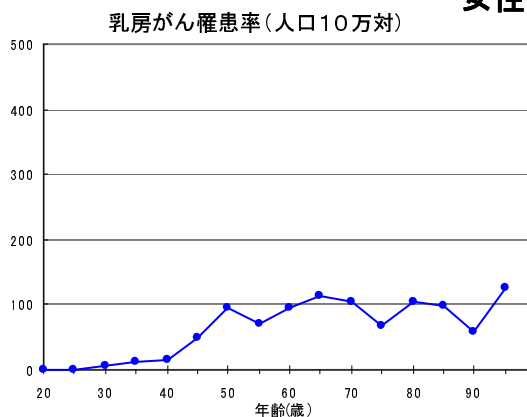
表1 届出対象部位

国際基本分類 (ICD-10)	種 別
C16	胃の悪性新生物
C18	結腸の悪性新生物
C20、C19、C21	直腸、直腸S字結腸移行部及び肛門の悪性新生物
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物
C23、C24	胆のう〈嚢〉及び肝外胆管の悪性新生物
C25	膵の悪性新生物
C33、C34	気管、気管支及び肺の悪性新生物
C50(女)、D05(女)	女性乳房の悪性新生物
C55、C53、C54、D06	子宮の悪性新生物
C73	甲状腺の悪性新生物

年代別のがん罹患状況



女性のその他のがん



出典: 石川県におけるがん登録(平成18年標準集計・平成14年罹患患者生存率集計)

男性も女性も、50歳代からがんの罹患率が上昇します。

女性の乳がんについては、40歳代から罹患率が上昇します。

また、胃がん、大腸がん、肝臓がん、肺がんでは、ほぼいずれの年代においても、男性が女性の罹患率を上回っています。

★ 罹患率とは？

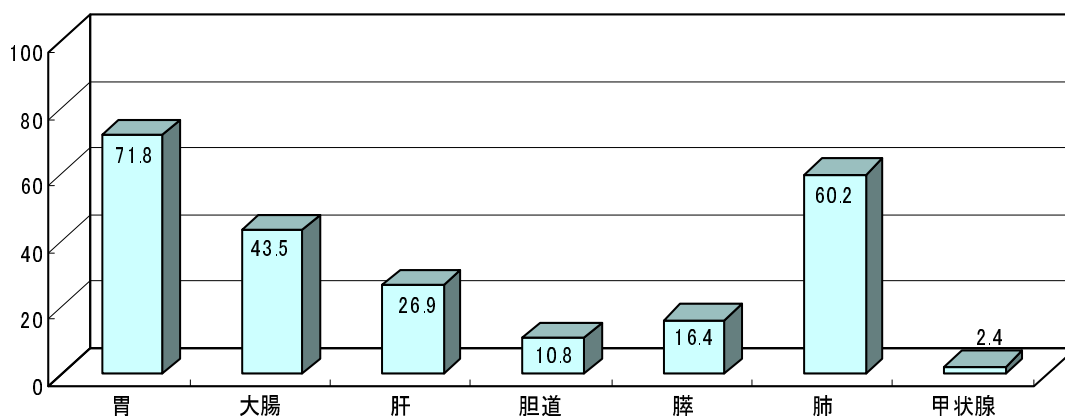
ある観察集団で、ある観察期間内に、新たに病気にかかった患者さんが何人いたかを計算したものです。

これは、ある一定期間内に病気にかかる危険の大きさを示す指標になります。

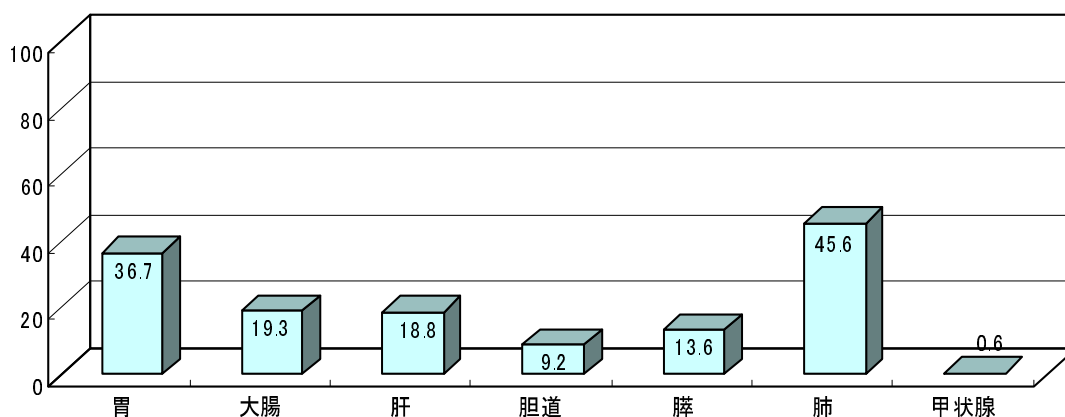
人口10万対の罹患率の意味は、1年間に10万人を観察した場合の率のことをいいます。

年齢調整罹患率と年齢調整死亡率(男)

年齢調整罹患率(人口10万対)



年齢調整死亡率(人口10万対)



出典: 石川県におけるがん登録(平成18年標準集計・平成14年罹患者生存率集計)

男性の年齢調整罹患率は、胃がん、肺がん、大腸がんが高くなっています。

胃がん、肺がん、大腸がんの次は、肝臓がん、膵臓がんが続きます。
一方、年齢調整死亡率は、肺がんが最も高く、次いで胃がん、大腸がん、肝臓がんが続きます。

★ 年齢調整罹患率・年齢調整死亡率とは？

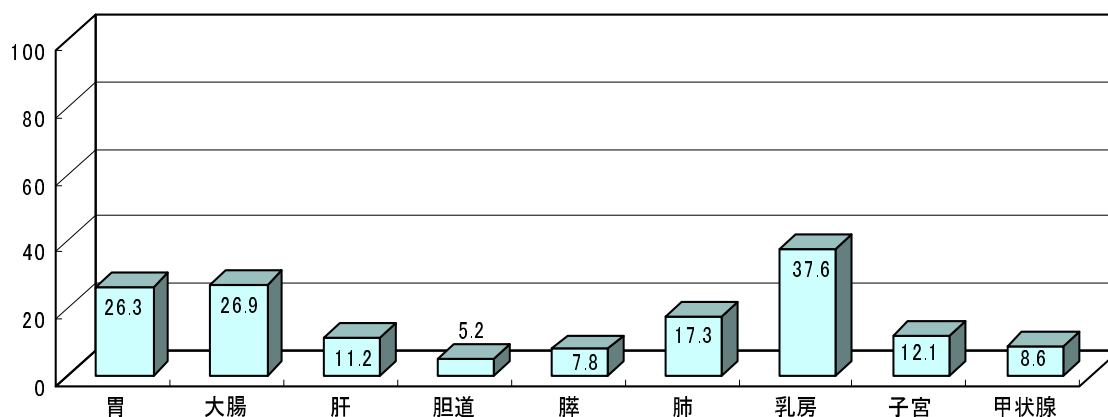
罹患数を全人口で割ったものが粗罹患率ですが、粗罹患率は、高齢者が多いと高い罹患率を示しやすいため、地域比較や経年比較をするには適当な指標とはいえません。

そこで、年齢構成を補正して計算したのが、年齢調整罹患率です。これは、がんのかかり易さを示す指標といえます。

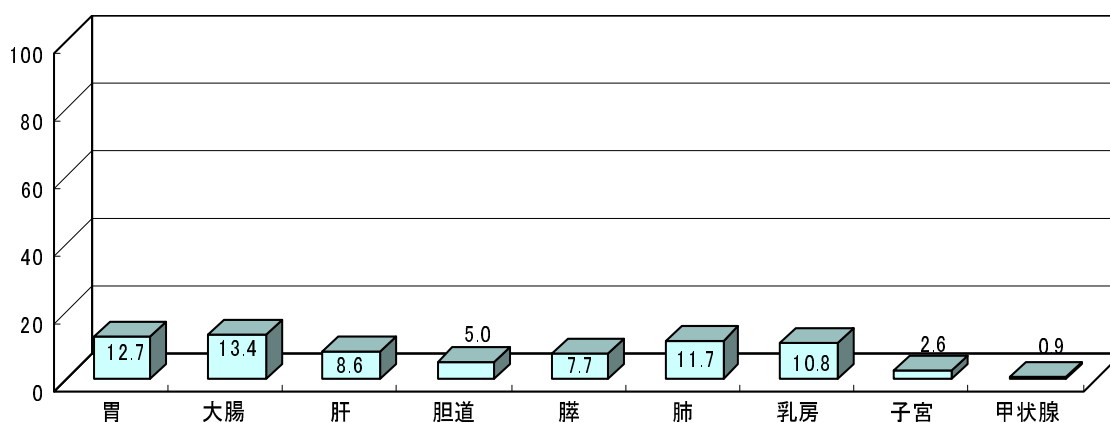
年齢調整死亡率も同様の考え方で、年齢構成を補正した死亡率のことをいいます。

年齢調整罹患率と年齢調整死亡率(女)

年齢調整罹患率(人口10万対)



年齢調整死亡率(人口10万対)



出典: 石川県におけるがん登録(平成18年標準集計・平成14年罹患者生存率集計)

女性の年齢調整罹患率は、乳がん、大腸がん、胃がんで高くなっています。

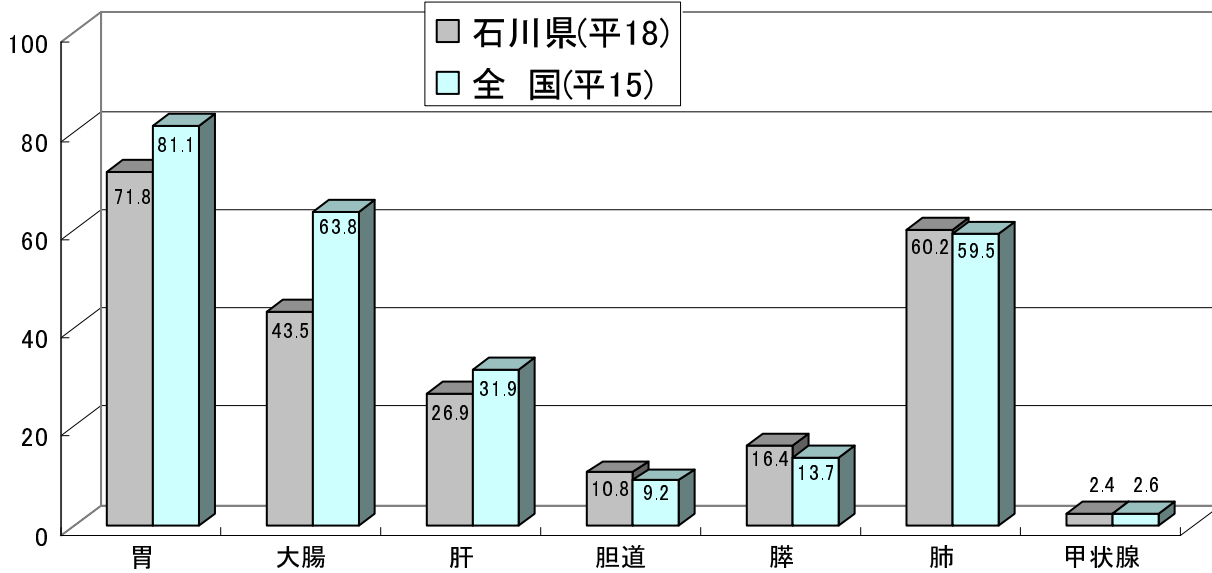
乳がん、大腸がん、胃がんの次は、肺がん、子宮がん、肝臓がんが続きます。

一方、年齢調整死亡率は、大腸がんが最も高く、胃がん、肺がん、乳がんが続きます。

年齢調整罹患率の全国との比較

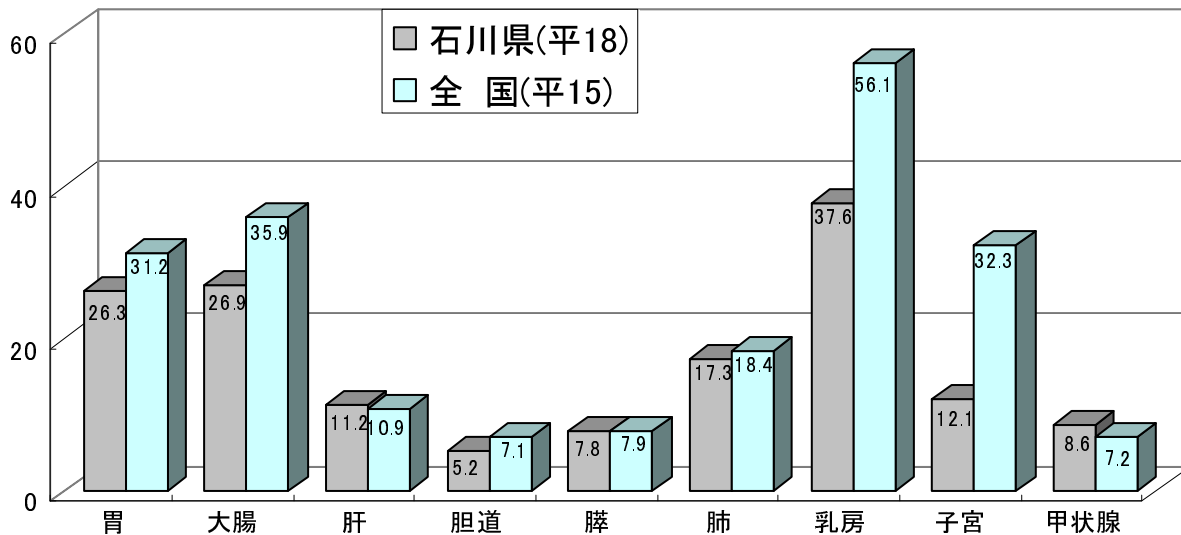
男

(人口10万対)



女

(人口10万対)



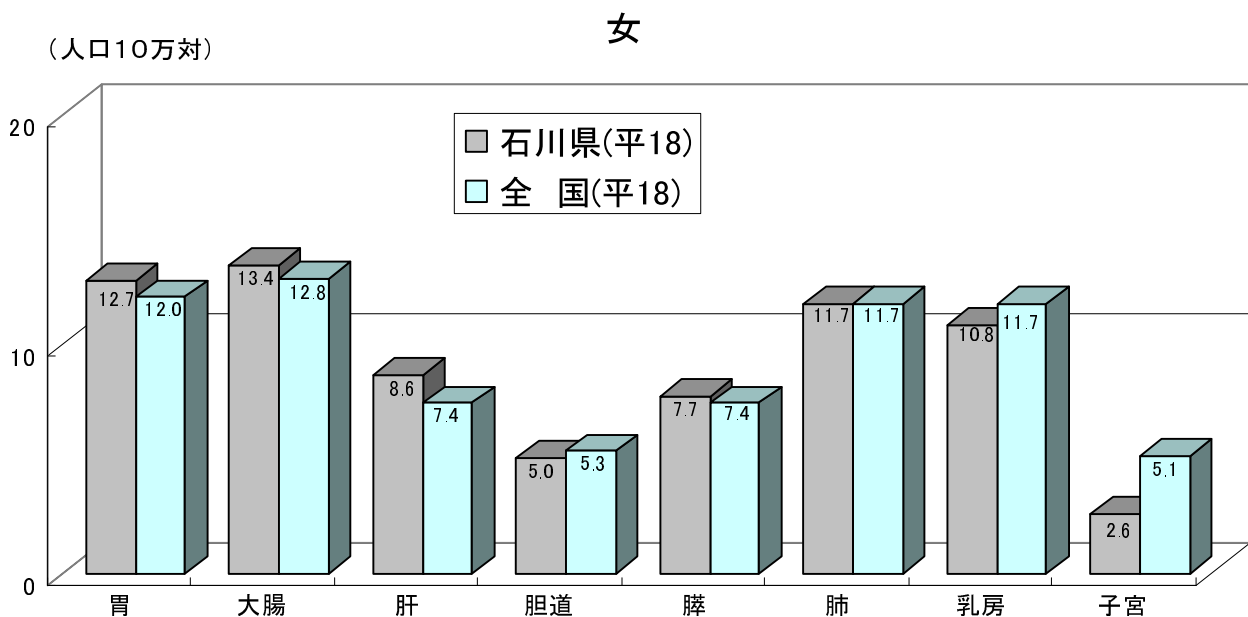
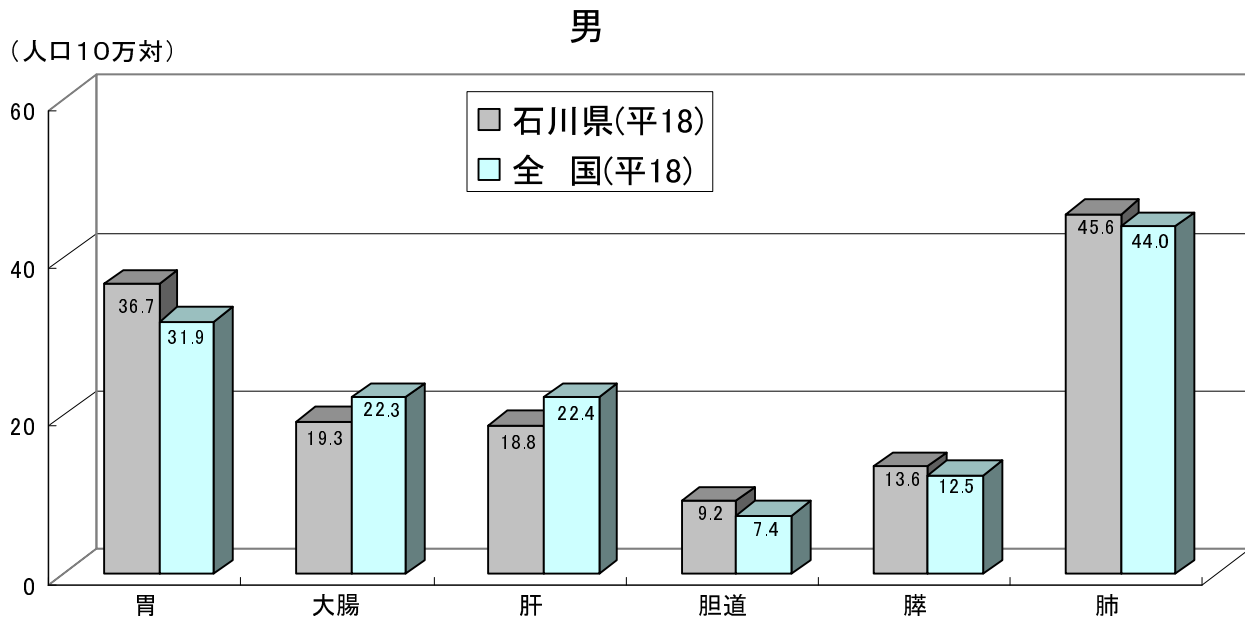
出典: 石川県におけるがん登録(平成18年標準集計・平成14年罹患患者生存率集計)

**年齢調整罹患率は、男性の胆道がん、膵臓がん、女性の甲状腺がん
で全国よりやや高くなっています。**

男性は、全国では1位胃がん、2位大腸がん、3位肺がん、石川県
では1位胃がん、2位肺がん、3位大腸がんとなっています。

女性は、全国では1位乳がん、2位大腸がん、3位子宮がん、石川県
では1位乳がん、2位大腸がん、3位胃がんとなっています。

年齢調整死亡率の全国との比較



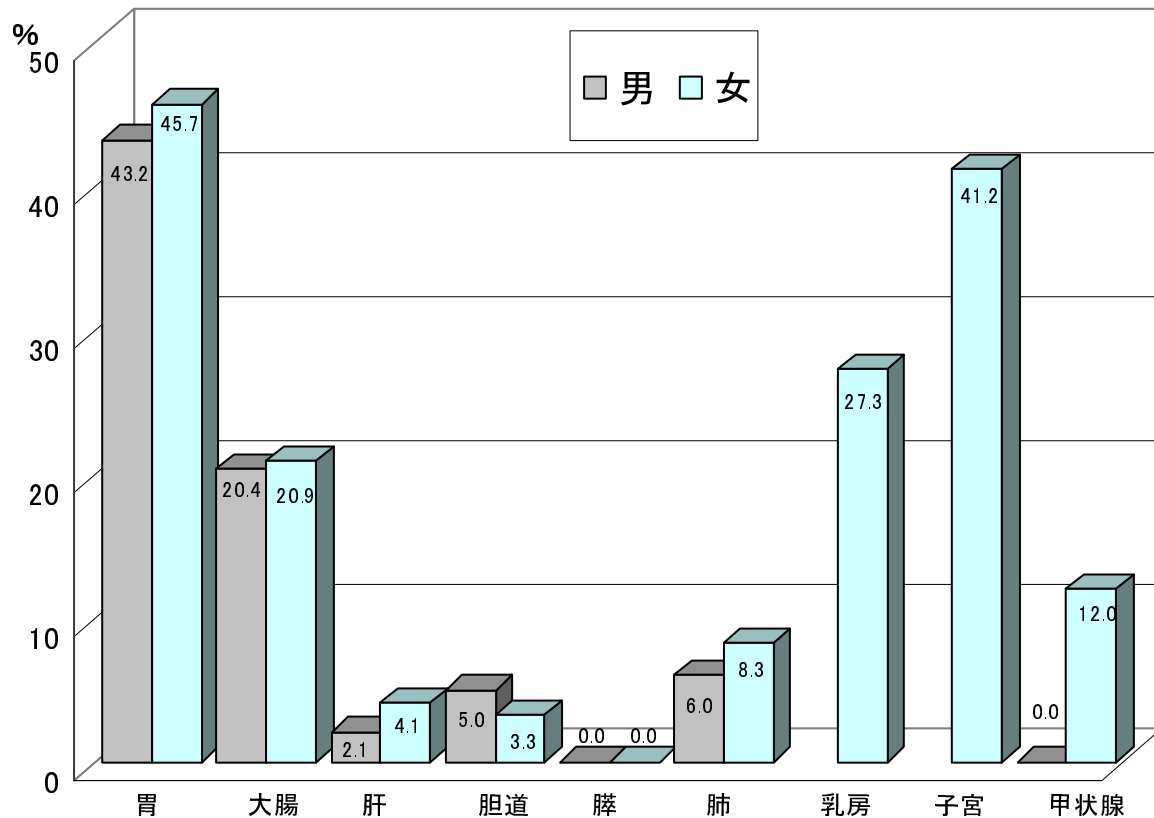
出典：石川県におけるがん登録（平成18年標準集計・平成14年罹患患者生存率集計）

年齢調整死亡率は、男性の胃がん、肺がん、胆道がん、膵臓がん、女性の胃がん、大腸がん、肝臓がんが全国より高くなっています。

男性は、全国では1位肺がん、2位胃がん、3位肝臓がん、石川県では1位肺がん、2位胃がん、3位大腸がんとなっています。

女性は、全国では1位大腸がん、2位胃がん、3位肺がんと乳がん、石川県では1位大腸がん、2位胃がん、3位肺がんとなっています。

早期がんの割合



出典：石川県におけるがん登録（平成18年標準集計・平成14年罹患者生存率集計）

早期のがんが見つかりやすいのは、胃がん、子宮がんです。

見つかったがんのうち、早期がん（進行していない早期の段階のがん）の占める割合を表したグラフです。

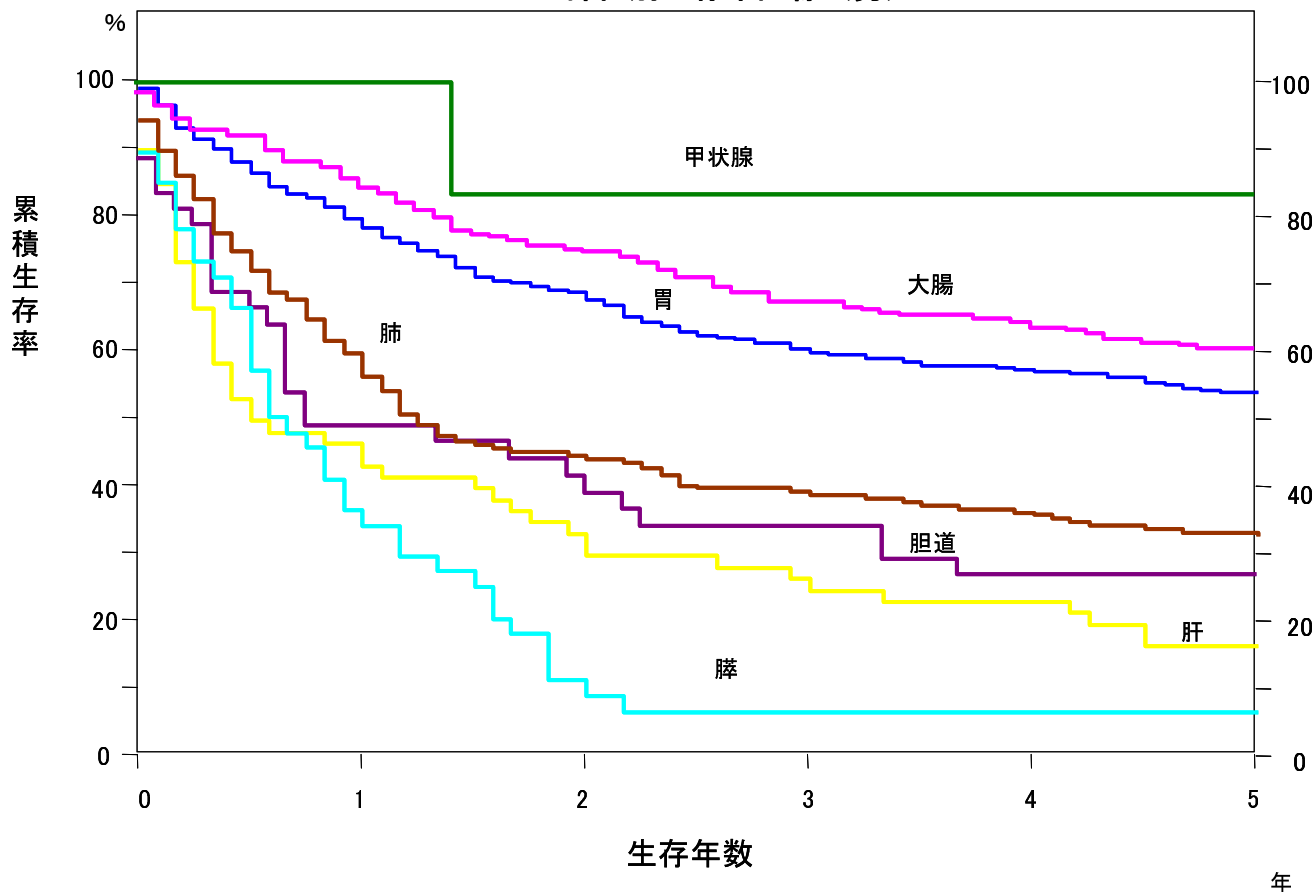
男性では、胃がんで約43%と高くなっています。一方、肺がん、肝臓がん、胆道がんでは10%にも満たず、早期に見つけにくいがんであることが分かります。

女性では、胃がんで約46%、子宮がんで約41%と高くなっています。一方、男性と同様に、肺がん、肝臓がん、胆道がんは早期に見つけにくいがんとなっています。

なお、膵臓がんと男性の甲状腺がんでは、早期がんはありませんでした。

5年生存率

部位別生存率曲線（男）



出典：石川県におけるがん登録（平成18年標準集計・平成14年罹患者生存率集計）

男性の甲状腺がん、大腸がん、胃がんは経過が比較的良好でした。

5年目の生存率は、甲状腺がんでは80%以上と最も高く、大腸がん、胃がんでは50%を超えています。

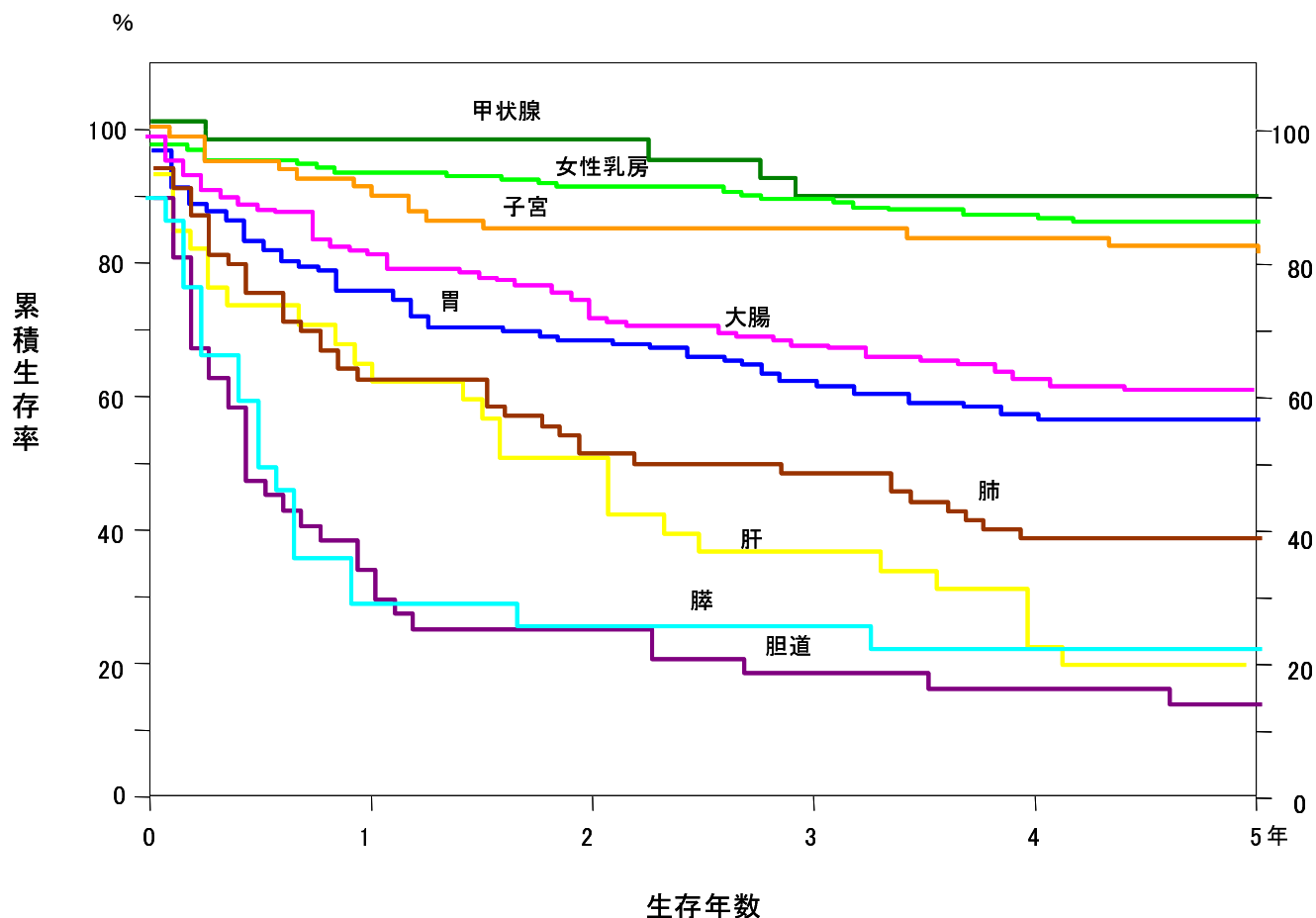
一方、肺がんでは30%台、胆道がん、肝臓がん、膵臓がんでは30%以下と低くなっています。

★ 生存率曲線とは？

がんが、発見されてから5年間の生存状況を曲線に示したものです。がんを治療して5年生存できた人は、以後のがんの再発がほとんどなく、5年生存率は治癒率に相当すると考えられています。

5年生存率

部位別生存率曲線（女）



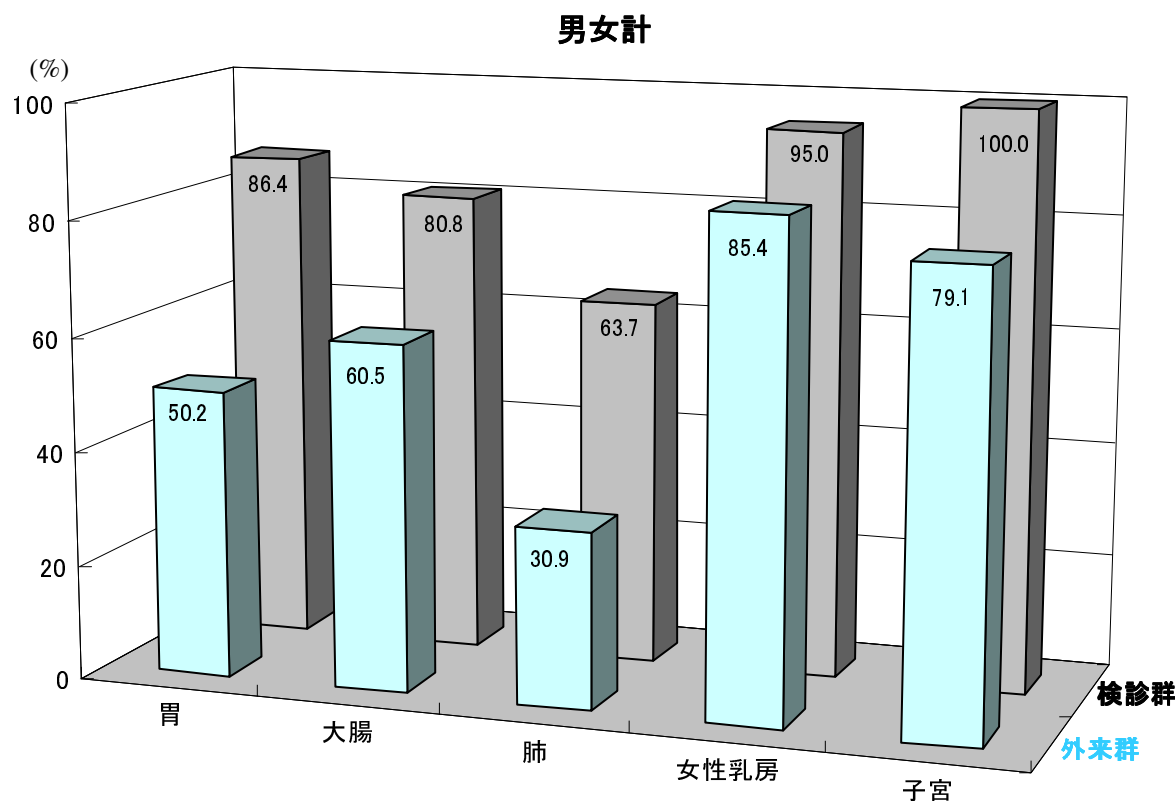
出典：石川県におけるがん登録（平成18年標準集計・平成14年罹患者生存率集計）

女性の甲状腺がん、乳がん、子宮がんは経過が比較的良好です。

5年目の生存率は、甲状腺がんでは90%以上と最も高く、乳がん、子宮がんでは80%を超え、大腸がん、胃がんでは50%を超えています。

一方、胆道がん、肝臓がん、膵臓がんでは30%以下と低くなっています。

検診群と外来群別5年生存率



出典：石川県におけるがん登録（平成18年標準集計・平成14年罹患者生存率集計）

検診でがんが見つかった人は、外来で何らかの症状が出てから受診した人と比べ、高い生存率を示しています。

検診で発見されたがん検診以外（外来）で発見されたがんに分けて、5年生存率を比較したグラフです。

いずれの部位においても、5年生存率は、検診群が外来群を上回っています。特に、検診で見つかった胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がんの場合は、80%以上が生存しています。

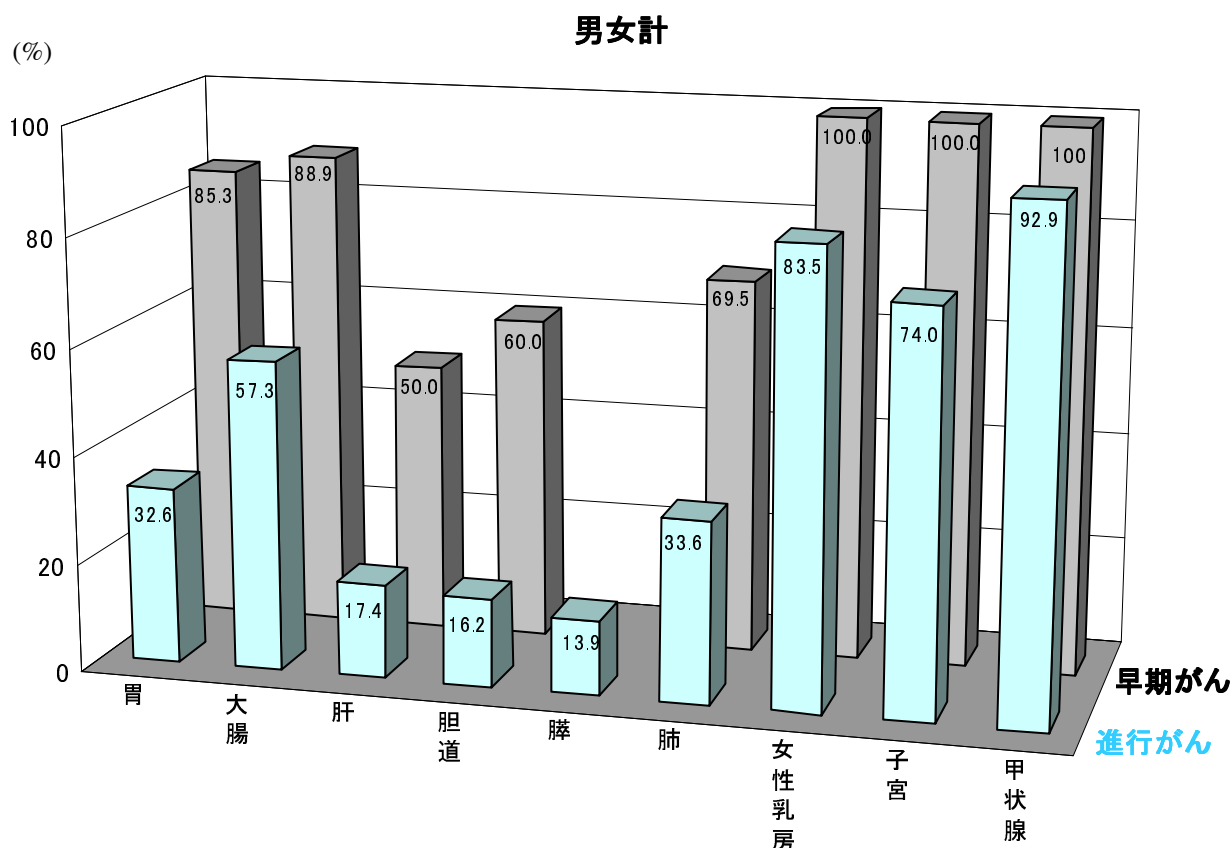
★ 検診群とは？

施設検診と集団検診、人間ドックを含む健康診断で発見されたがんのことをいいます。

★ 外来群とは？

自覚症状があり、診療所や病院の外来を直接受診して発見されたがんのことです。

進行度別の5年生存率



出典: 石川県におけるがん登録 (平成18年標準集計・平成14年罹患者生存率集計)

早期で見つければ、生存率は高くなります。

早期がんと進行がんに分けて、5年生存率を比較したグラフです。いずれの部位においても、早期がんの生存率が進行がんの生存率を大きく上回っています。

乳がん、子宮がん、甲状腺がんでは、進行がんであっても生存率は高くなっており、予後がよくなっています。一方、肝臓がん、胆道がん、膵臓がんでは、進行がんでの生存率は低くなっています。

平成18年度石川県がん情報管理事業における がん登録届出機関名及び届出数

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

地区	医療機関名	届出数
金 沢	浅ノ川総合病院	89
	浅野内科医院	1
	石川県済生会金沢病院	116
	石川県成人病予防センター	188
	石川県予防医学協会	58
	石川県立中央病院	21
	うきた産婦人科医院	1
	うきた病院	1
	おぎの胃腸科クリニック	38
	大平胃腸科外科クリニック	5
	丘村クリニック	1
	映寿会みらい病院	41
	金沢医療センター	70
	金沢社会保険病院	118
	金沢市立病院	117
	金沢大学医学部附属病院	843
	金沢西病院	23
	斉藤内科倉西外科医院	3
	半田内科医院	7
	ふたば乳腺クリニック	59
	南ヶ丘病院	20
	ヤザキ外科医院	1
加 賀	板谷医院	28
	加賀市民病院	246
	蓮井医院	3
	山下医院	5

地区	医療機関名	届出数
小 松	小松市民病院	332
	神足産婦人科	1
	森田病院	6
	やわたメディカルセンター	7
能 美	能美市立病院	2
	芳珠記念病院	77
白 山 ののい ち	松南病院	1
	新村病院	19
	野々市産婦人科医院	1
河 北	内灘温泉病院	2
	金沢医科大学病院	582
	北谷クリニック	17
	二ツ屋病院	3
	山崎外科胃腸科医院	3
羽 咋	西村内科・胃腸科クリニック	2
	村上内科産婦人科医院	1
七 尾	円山病院	7
	恵寿総合病院	75
	公立能登総合病院	134
能登北部	伊藤医院	9
	市立輪島病院	35
	升谷病院	7
	山岸医院	8
合 計		3,434

【参考：平成17年度届出数 2,654件】

<注> これは上記期間中に届出を受け付けた件数であるので平成18年度に診断したとしても、平成19年度中に届出がなされれば平成19年度分の報告となります。

このダイジェスト版は、「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会のがん登録委員会ワーキンググループ」の下記の先生方のご協力をいただいて作成したものです。

氏 名	職 名
中川 秀昭	金沢医科大学医学部教授（健康増進予防医学）
大平 政樹	石川県医師会理事
中村 幸志	金沢医科大学医学部講師（健康増進予防医学）
田畑 正司	石川県予防医学協会健康管理センター所長



石川県健康福祉部健康推進課

〒920-8580 金沢市鞍月1-1

電話 076-225-1448

FAX 076-225-1444

がん登録集計結果の詳細やがん登録資料の利用についてなど、石川県地域がん情報管理事業に関する情報は、下記のホームページから入手できます。

<http://www.pref.ishikawa.jp/kenkou/gan-touroku/top.htm>